

みなせ牛カレーいかが

地元中学生、あすまで販売



湯沢市の皆瀬中学校の生徒たちがオリジナルのカレーを販売するイベントが29日、同市柳町の「カフェラウンジ17」で始まった。地域で育てられた「みなせ牛」のすじ肉が使われており、来店者でにぎわっている。あす31日まで。

総合的な学習の一環。地域貢献、社会参加の意識を育もうと取り組んでいる。市内の若手経営

者グループ「湯沢ストリート村実行委員会」が協力している。

カレー調理はメンバーの「レストランびいどろ」（同市倉内）が担当した。すじ肉はスパイス類と一緒に炒め、じっくり煮込んだ。幅広い世代に味わってもらおうと辛みを抑え、自家製デミグラスソースと合わせている。昨年秋に地域での合同イベントで初披露され好評を博した。

全校生徒38人が盛り付けや接客、会計を交代しながら担当する計画。初日の29日はこれまでの大雨を受け、生徒の安全を確保しようと教職員9人で運営、持ち帰りのみ対応した。

池田隆校長は「学校外の人と触れ合い、生徒たちが人間的に成長していくことを期待している。多くの人に訪れてもらいたい」と話した。

きょう30日からは生徒が盛り付けなどを担う。店内での食事のみ午前11時～午後1時半に受け付ける。1食600円。持ち帰りは事前予約制で申し込みは終了している。（小林智彦）

（令和6年7月30日（火）秋田魁新聞より一部抜粋）